

戦没者のめい福を祈り

春季戦没者追悼式



戦没者をしのび献花する遺族の皆さん

笠松町春季戦没者追悼式が4月22日、笠松・松枝・下羽栗の各地域の会場でしめやかに行われました。

式には戦没者の遺族の皆さんや関係者が多数参列され、広江町長が「戦後に生まれた世代が大半を占める今、現在の平和と繁栄が戦争の犠牲となられた方々と、ご遺族の皆様のご労苦の上に築かれていることを決して忘れてはなりません。笠松が持つ歴史、文化、自然を生かした、魅力あるまちづくりに全力を傾注し努力してまいります」と式辞を述べました。

続いて岐阜県知事代理、安田町議会議長の追悼の言葉のあと、参列者が献花を行い、戦没者のめい福を祈り、平和への誓いを新たにしました。

かさまつの文化・芸術・学習の成果を一堂に

「馬」をテーマに文化フェスタ

5月17・18日、中央公民館で町文化協会による“かさまつ文化フェスタ2014”が「馬」をテーマに開催されました。

文化フェスタは、町文化協会に登録しているクラブやサークルの会員が素晴らしい人間関係を築き参加している人の人生を充実させる共同体として、日ごろの活動の成果を披露する場です。

作品展示部門では、油絵・水彩画・水墨画・写真・書・短歌・俳句・川柳・生け花などの作品160点を展示。

ステージ発表部門では、日本舞踊・民謡・フラダンス・詩吟・コーラスなどの22団体が発表。

観覧された皆さんは、展示作品の素晴らしい出来栄えに感心し、ステージ発表では、馬の毛を使用したウェディングドレスなどのファッションショーに、会場が歓声で盛り上がりました。



馬の毛を使用したウェディングドレスを鑑賞する参観者

迅速な消火活動は日ごろの訓練から

町消防団



訓練に励む消防団員

5月9・10日の2日間にわたり、笠松町民運動場で町消防団が、羽島郡広域連合西消防署職員の指導を受けて訓練を行いました。

当日は、規律訓練・人員服装点検など消防団員としての規律を習得する規律訓練が行われました。

日ごろ仕事を持っている消防団員の訓練は、仕事を終えた夜間や休日に行われています。「わがまちを災害から守る」使命感をもって、火災現場での機敏な行動、迅速な消火活動を行うため、団員らは真剣な面持ちで訓練に励んでいました。